

あらよう通信

熊本県立荒尾養護学校
特別支援教育
センターだより No.4
平成20年12月24日

荒玉の地域資源～障がい福祉サービスをご存知ですか？～その2

今回は、本校の高等部を卒業した生徒が利用している「障がい福祉サービス」について紹介いたします。

知的障がい者授産施設

対象：18歳以上の知的障がい者

作業能力を有するが雇用されることの困難な方
若干の訓練を行なうことにより作業が可能なる方

目的：職業訓練や生活支援を行なうと共に職業を与えて
自活させることを目的とする施設

施設には入所と通所があり、働きに応じて工賃が支払われる。

荒尾市小岱作業所《通所・入所併設》

連絡先：荒尾市増永2452-2

TEL：0968-62-7931

銀河ステーション《通所》

連絡先：玉名郡和水町江田10-1

TEL：0968-86-5557

ひまわりの里《通所》

連絡先：玉名郡長洲町大字清源寺3246

TEL：0968-78-0589

知的障がい者更生施設

対象：18歳以上の知的障がい者が利用

目的：生活習慣の確立と社会生活への適応を高める生活
支援や職業に対する適応能力を高める作業指導などにより、
将来自立した社会生活が営めるように指導訓練する施設

入所と通所がある。

天水生命学園《通所・入所併設》

連絡先：玉名郡天水町小天6640

TEL：0968-82-3335

うすま苑《入所》

連絡先：玉名郡南関町上坂下790

TEL：0968-53-9126

地域連携の取組

- 12/2 玉東町地区
コーディネーター会議
12/4 荒玉地域特別支援
連携協議会

(巡回相談)

- 10/16 中央小学校
10/21 中央小学校
10/31 みやじま幼稚園
10/29 長洲町立
清里小学校
11/14 木葉小学校

(巡回相談)

- 11/18 山北小学校
12/12 月瀬小学校

(研修支援)

- 11/27 玉名高校
11/28 横島小学校

特別支援教育

豆知識

お

応用行動分析 applied behavior analysis

スキナー（Skinner, B.F.）によって創始された行動分析を、日常場面の人間の行動の分析とその修正の為に用いる領域をさす。応用行動分析は行動分析理論の応用場面での適用を意図する領域であるため、その使用に際しては、行動分析理論への習熟が求められる。

また、行動障害といった問題に取り組む技法体系として応用行動分析の用語を用いる場合もあり、この場合は行動療法のオペラント条件づけによる技法体系と同義であると考えてよい。

か

カウンセリング counseling

悩みをもった一人の人間を援助すること。カウンセラーとクライアント間に日常関係と明らかに異なる関係や心理的風土を形成する中で行われる専門家（臨床心理士など）による働きかけをさす。カウンセラーはクライアントに対して誠実に接し、その意見・感情・人格を尊重し、暖かく受容することが基本であり、その反応をクライアントの視点に立って理解しようと努めることが求められる。

二次障害としての不登校の予防

(二次障害とは...)

子どもが抱えている困難さを周囲が理解して対応しきれていないために、本来抱えている困難さとは別の二次的な情緒や行動の問題が出てしまうこと。

(自己評価の低下)

- ・友達になじられたり、親や教師に怒られたりなど失敗体験を繰り返すと、次第に「ダメな子」「できない子」という思いにとらわれる。
- ・うまくいかない経験や思い、プレッシャーが強くなると、何に対してもやる気が湧いてこなくなったり、自分に対して否定的になったりする。
- ・自己評価が低下した状態が続くと、引きこもりやうつ状態につながることもある。

(例えばこんなこと...)

Aさんは授業中ウロウロしたり、教室から飛び出したりすることがある。先生からはいつも注意を受け、無理に席に着かされている。毎日そのやりとりが続くうちに「学校はおもしろくない」と休みがちになった。

B君は物知り博士と言われている。その反面、理屈っぽく生意気だとからかいや嫌がらせを受けている。先生の見てないところでいじめはエスカレートし、やがて学校に行けなくなってしまった。

Cさんは、ノートをとるのが苦手。いつも先生に注意を受けている。宿題もなかなか進まず、親にも叱られてばかりである。次第に体の不調を訴えて学校を休むようになってしまった。

(不登校の予防のために)

自己肯定感・自尊感情を育てる

- ・他者に認められることで育つものである
(教師・友だち・保護者など)
- ・みんなの前で「ほめる」こと

早期対応

- ・学年が上がれば上がるほど深刻になっていく。万引きや傷害など法に触れる**行為障害**として現れることもある。

原因となる事柄の把握

- ・不登校の背景となっている事柄は何なのか？背景によって対応も変わってくる。
- ・学習面・行動面の要求水準を下げる。別室登校の場の確保などケースに応じて対応を考える。

～ 書籍案内 ～

『発達障害のある子の困り感に寄り添う支援』
佐藤 暁 著 1890 円 学習研究社

『発達障がいを持つ子の「いいところ」応援計画』
阿部 利彦 著 1785 円 ぶどう社

『軽度発達障害のある子のライフサイクルに合わせた理解と対応』
田中 康雄 著 2100 円 学習研究社

熊本県立荒尾養護学校

〒864-0032

荒尾市増永西長浦2299-3

(TEL) 0968-62-1131

(FAX) 0968-69-1064

ホームページアドレス:

[http://www.edu-c.pref.](http://www.edu-c.pref.kumamoto.jp/sh/araoyogo)

[kumamoto.jp/sh/araoyogo](http://www.edu-c.pref.kumamoto.jp/sh/araoyogo)

メールアドレス:

arao-y@bears.ed.jp

担当者: 甲斐原 巖

